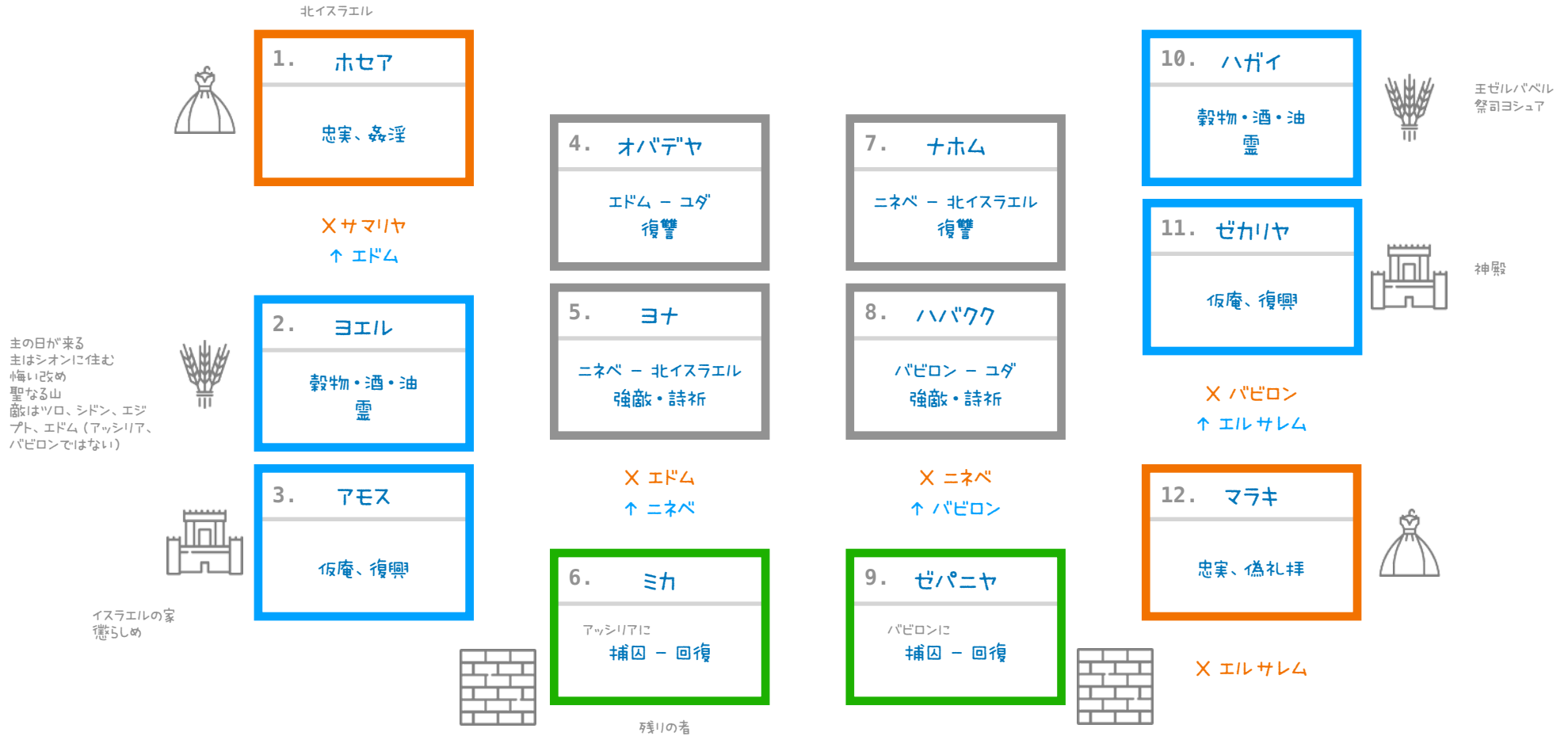


十二小預言書の配列構造

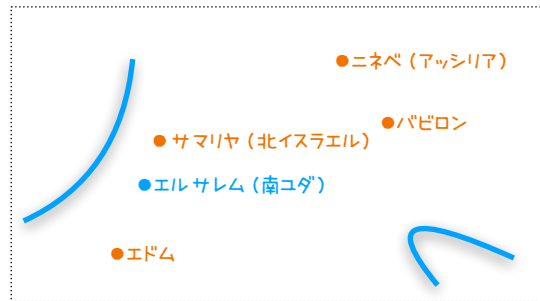
※十二小預言書は、執筆年代順に配列されてはいないが、ユダヤ聖書、七十人訳聖書でもキリスト教の聖書でも同じ配列順である。

"天よ、耳を傾けよ。私は語る。地よ、聞け。私の口のことばを。" 申命記 32章1節



"「このみおしえの書を取り、あなたがたの神、主の契約の箱のそばに置きなさい。その場所で、あなたに対する証しとしなさい。私は、あなたがどれほど逆らう者であるか、うなじを固くする者であるかをよく知っている。見よ。私があなたがたとともに生きている今でさえ、あなたがたは主に逆らってきた。私の死後は、なおさらである。" 申命記 31章26～27節

"私の死後、あなたがたがきっと墮落して、私があなたがたに命じた道から外れること、また、後の日に、あざあいがあなたがたに降りかかることを私はよく知っているからだ。それは、あなたがたが主の目に悪であることを行い、あなたがたの手のあざによって主の怒りを引き起こすからである。" 申命記 31章29節



"あたしはあなたがたを国々の間に散らし、剣を抜いてあなたがたの後を追う。あなたがたの地は荒れ果て、あなたがたの町々は廢・となる。そのとき、その地が荒れ果て、あなたがたが敵の国にいる間、その地は休む。そのとき地はその安息を享受する。" レビ記 26章33～34節

"この地はすべて廢・となり荒れ果てて、これらの国々はバビロンの王に七十年仕える。七十年の終りに、あたしはバビロンの王とその民を 主のことば またカレデア人の地を、彼らの・のゆえに罰し、これを永遠に荒れ果てた地とする。" エレミヤ書 25章11～12節